

(1) 福島県農業の持続的発展に向けた先端技術(スマート農業)を学べる施設の在り方に関する提案

■設計主旨

「農業総合センター農業短期大学校機能強化に関する基本構想」の中での課題で「学生の学習環境は、個々の生活を送るスペースと必要最小限の機能のみで、課外活動以外で学生同士の研究や自主的な学習などに活用する施設・設備が備わっており、・・・」とあります。この課題の解決を図る為に建築、外部施設も含めた、内外の環境を有機的に構築し様々な角度から組み上げていきます。

- ・この施設で学生時代を過ごす寮生や研修生が卒業後も記憶に残り、良い思い出となる施設づくりでありたい。

■寮室の可変性について

寮生の男女比に対する可変性については、可変寮室として4室をあて、廊下の区画を可動式の壁により成立させます。

■二つのリング

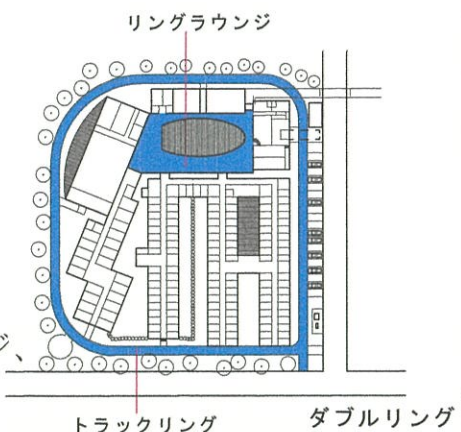
内部空間を秩序づける、中心となるリングラウンジ、外部空間のトラックリングは寮生のジョギングや散歩など日常の生活のリズムをつくります。又施設のメンテナンス通路として施設の外周の回廊を形成します。日常の外部動線の機能と非常時の避難経路ともなります。

■中庭の風景

- ・外部トラックリング内側の中庭の植栽のイメージ
- ・草と花が混ざりあった、原っぱのような中庭。

■寮室棟のイメージ

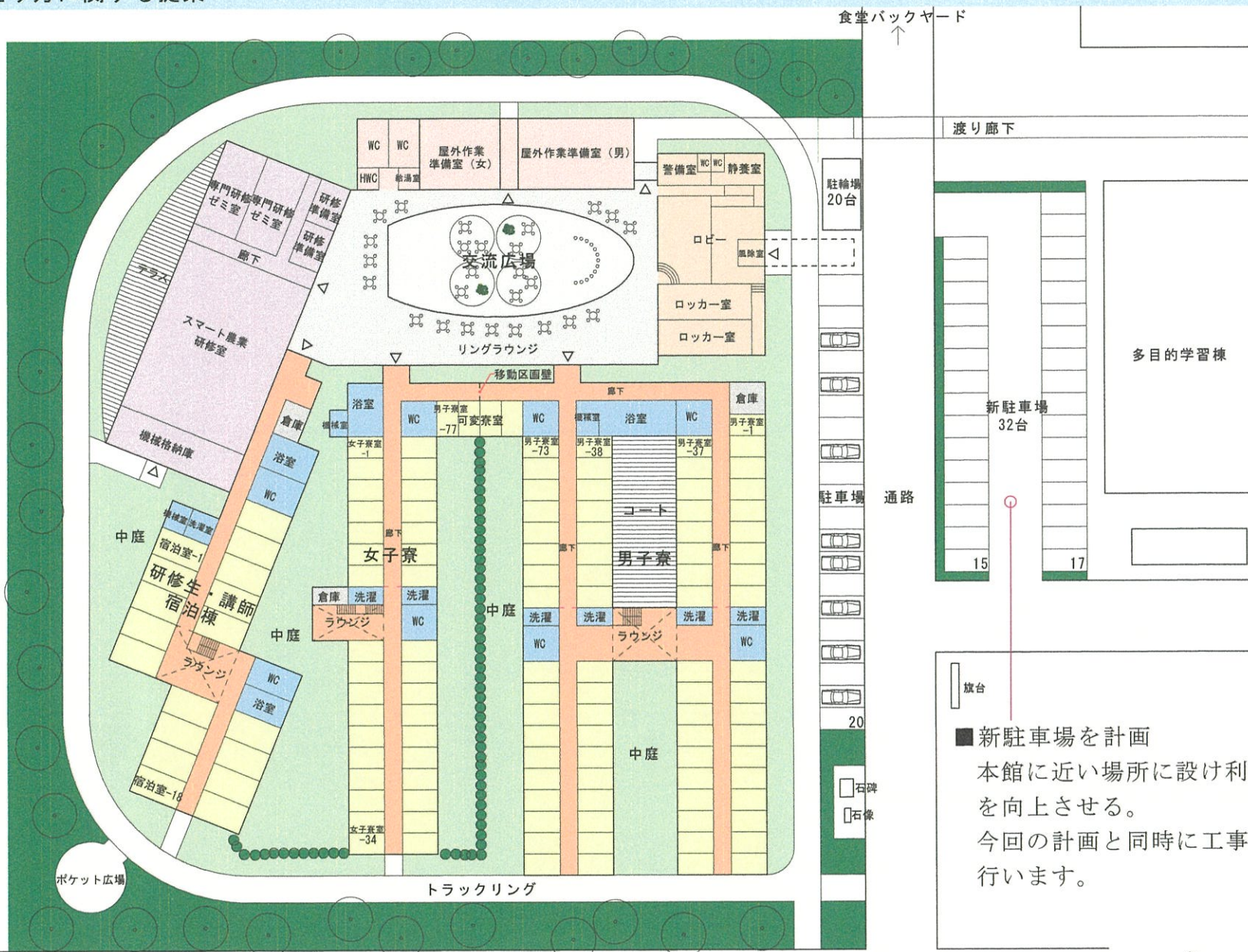
寮室等の4本の棟はそれぞれの外部空間を挟んで配置されています。単調にならないように変化ある形態とし有機的な姿にちかづければとの思いです。



中庭の風景



寮室棟のイメージ



平面イメージ

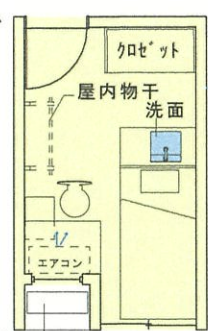
■新駐車場を計画

本館に近い場所に設け利便性を向上させる。今回の計画と同時に工事を行います。

(2) 良好な教育・研修環境の中で学生や研修生が快適に過ごせる施設の在り方に関する提案

■寮室の構成

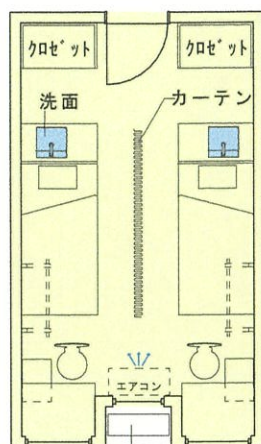
- ・寮室は定められた面積の中で必要な機能を備えています。
- ・洗面器の設置は従来、共用トイレそばにまとめて設置されますが寮室内に設ける事で居住性を高めます。
- ・また手洗いを容易にできますのでコロナ等の感染症対策にも有効に働きます。



寮室平面イメージ

■研修生・講師宿泊室

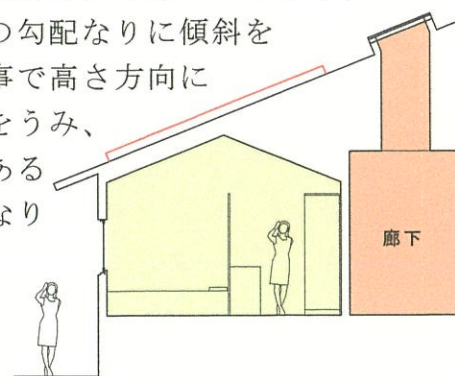
- ・設備内容は寮室と同様のものとします。
- ・冷暖房、換気機能付き壁掛エアコンとし、制御が容易に出来、メンテナンスも難しくありません。
- ・二人部屋ですがベッドの間にカーテンを設ける事で最低限プライバシーを守ります。



研修生・講師宿泊室平面イメージ

■寮室の空間イメージ

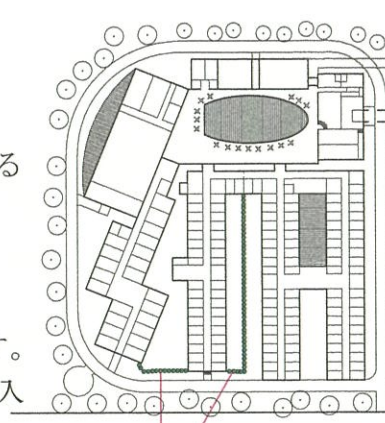
寮室の平面は広いとはいえませんが空間の大きさをカバーします。屋根面の勾配なりに傾斜をつける事で高さ方向に広がりを含み、変化のある空間となります。



寮室断面イメージ-1

■女子寮のセキュリティ対策

- ・外部からのセキュリティは二段がまえとなっています。
- ・一つは全体の風景を壊さないように中庭に密植の生垣による侵入防止の区画を設けます。
- ・もう一つは居室の床レベルがGL+1mと計画しています。この事により、外部からの侵入の防止となります。



女子寮侵入防止の生垣

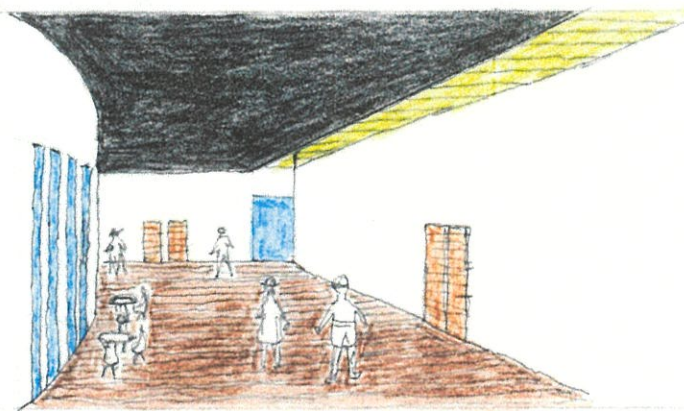
（3）学生等の自らの学びと農業者、指導者等と多様な交流を促す施設の在り方に関する提案

■広場となるリングラウンジ

・多様な交流を生み出す出会いの空間です。この空間は人との交流で様々な場面に対応可能となっています。

・広い空間の中で一人で静かにいたい時や仲間と一緒にグループで活動するなど自由に位置どりができます。又それぞれのエリアにアプローチするのに施設の動線上も必ずこの空間を経由していきます。

・この施設を利用する全ての人の屋内広場です。



リングラウンジのイメージ

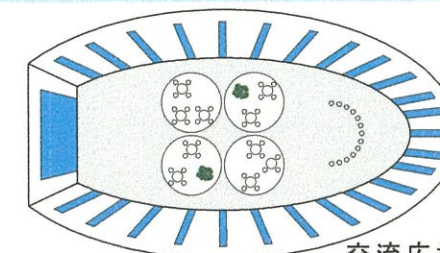
■交流広場

・楕円形の屋外空間に設けられた交流広場は、学生の日常的な憩いの場として設けられました。気候の良い時期にはここに出て気持ちのリフレッシュを図ったりクラスメイトや先生がたとの会話のほずむ場にもなっています。

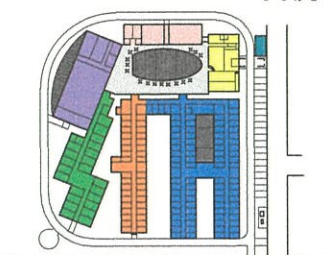
■グラフィック計画

・生徒たちの自分の学校として視覚から施設を認識でき形態が分かるサイン計画になります。

・それぞれの棟ごとにテーマカラーを設定し、分かりやすいデザインの色彩計画を行います。



交流広場のイメージ



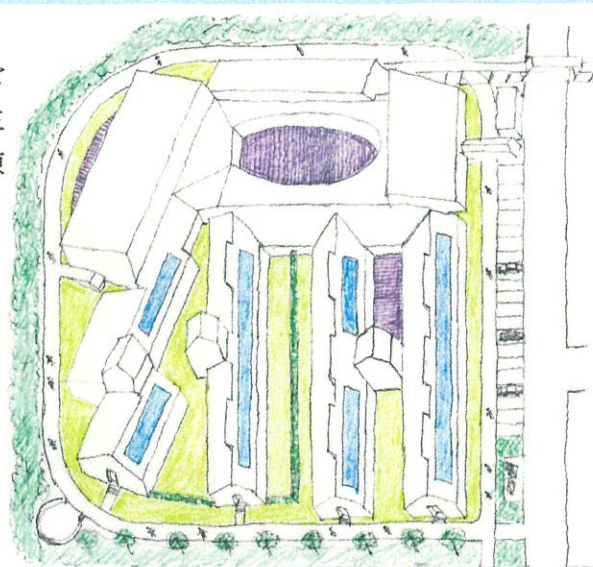
棟別のテーマカラーイメージ

（4）伝統と革新、地域に配慮した意匠、県産材の積極的な活用とエネルギー性能が高く持続可能性に優れた施設の在り方に関する提案

■福島県の風土に根付く建築の姿

・東北の歴史の中で脈々と流れている、切妻屋根を基本とした施設となっています。男女の寮、研修生講師宿泊棟は切妻屋根になっており、それぞれの棟の中央部のラウンジの部分は2階建てで平屋の中にあって、外観に変化ある景観を形成しています。

・研修棟、屋外作業準備棟、ロビー棟は中央リングラウンジから外側三方に向かって、片流れの屋根で構成されています。片流れ屋根の先端は低い軒の高さとなり、切妻屋根部と合わさって全体としてヒューマンスケールの施設群となります。



外観イメージ

■県産材の木材の活用

・木造部は在来軸組工法とします。

・構造用木材は住宅などに使われる規格材を標準とします。

・木造で建物の長寿命化を図る方法を床高や外装、屋根の工法等の検討を加える事により達成します。

■ライフサイクルコスト低減を考慮した施設づくり

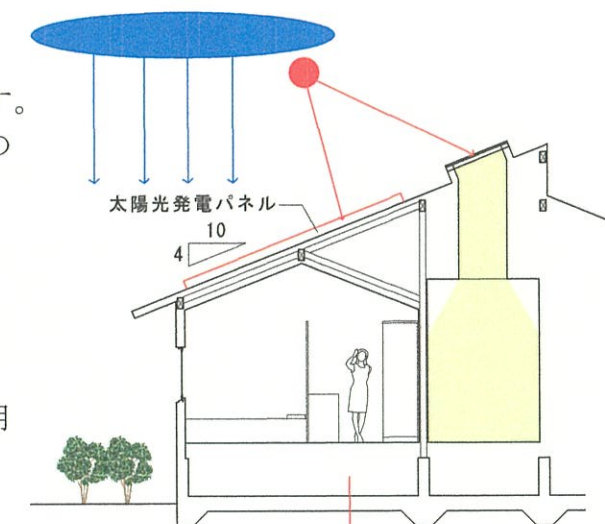
・太陽光発電パネルは南東向きで屋根勾配が4寸勾配の効率の良い屋根面に設置します。

・雨水の利用  
平屋建ての特性である大きな屋根面に降った雨水の利用をトイレの洗浄水などに活用します。

・照明も人感センサーで効率の良い照明制御を行います。

・窓などの開口部は住宅用サッシでコスト低減

・サッシ硝子はペアガラスで断熱性能をあげます。



寮室断面イメージ-2

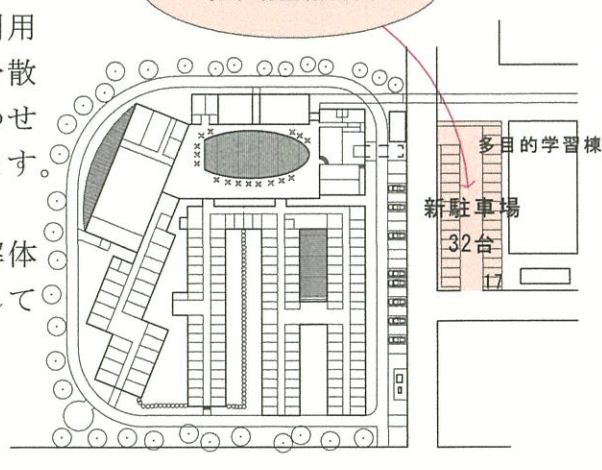
（5）その他本施設の計画において特に重要と考える提案

■新駐車場の設置

けやき寮、せんだん寮の解体跡地に整備予定としてありますが、限りある敷地の利用活用の点から、駐車場を分散させず、今回の計画と合わせて集約させる事を提案します。

けやき寮、せんだん寮の解体跡地は将来の施設用地として可能性を残して確保しておきます。

けやき寮・せんだん寮・解体撤去後の駐車場整備計画

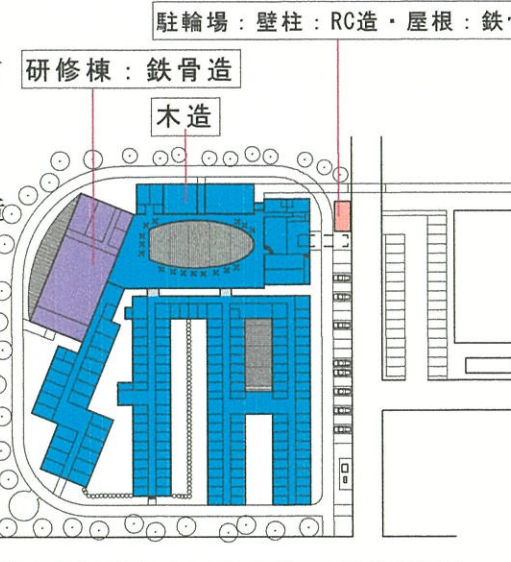


■施設の構造の選択

・寮室などの小さい区画で構成されている建築は木造に適しています。しかし全体を木造で通す事にこだわらず選択の幅を広げてそれぞれに適した構造形式とします。

・研修棟の研修室の跨度が長く大きな空間は無理のない鉄骨造を選択します。

・研修棟はその大きさから、施設の奥に配置させ全体の調和を図ります。



■寮室棟、研修生・講師宿泊棟のラウンジ

・平屋建てで水平に広がる空間の中で居住の棟に唯一設けられる立体的な空間としています。

・2階建となっていて、2階部分は図書コーナー等になっています。

・この空間は吹抜になっており解放的な中で、ゆったり過ごせるスペースで落ち着いて読書などができます。

